

会 議 録

会議名 (審議会等名)	相模原市水とみどりの審議会		
事務局 (担当課)	水みどり環境課 電話042-769-8242 (直通)		
開催日時	令和元年10月 4日 (金) 14時00分～16時10分		
開催場所	相模原市立環境情報センター2階 学習室		
出席者	委員	8人 (別紙のとおり)	
	その他	0人	
	事務局	6人 (水みどり環境課長、他5人)	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	1 開会 2 議題 (1) 次期「相模原市水とみどりの基本計画・生物多様性戦略」の素案について (2) 次期計画・戦略の策定に関する答申書(案)について 3 その他		

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(○は委員の発言、●は事務局の発言)

1 開会

2 議題

(1) 次期「相模原市水とみどりの基本計画・生物多様性戦略」の素案について事務局による説明の後、質疑応答を行った。

- 基本目標1生物多様性の認知度について、以前は「生物多様性という言葉の意味を知っている」と答えた人の割合が30%ほどであったと記憶しているが、なぜ67.3%と大幅に増えているのか。
- 認知度の現況値については、生物多様性の「言葉の意味を知っている」と「言葉を聞いたことがあるが意味は知らない」と回答した人の合計から算出している。「言葉の意味を知っている」と回答した人のみであれば31.4%であるが、「言葉を聞いたことがあるが意味は知らない」と回答した人と合計すれば67.3%である。国が合計を75%にすることを目指しているため当市でも合計を認知度とした上で75.3%を目指している。
- 「言葉の意味を知っている」と回答した人の割合はほとんど変化がないのにも関わらず、大幅に変化しているように感じる。各内訳も合わせて記載してほしい。
- ご指摘の通り内訳も記載する方向で検討する。
- 国の目標である75%を目指すのはわかるが、相模原市の目標が75.3%と小数点を目標にするのは違和感がある。
- 最低でも75%は下回りたくないため75.3%という数字になった。端数の扱いについては他のアンケートも確認した上で検討する。
- 序章23ページの注釈【公益財団法人 相模原市まち・みどり公社】が小さく見づらい。また、第3章65ページの相模原市まち・みどり公社事業参加人数について事業の中身を想像しづらい。
- 事業の例示をする等、分かりやすい表現となるよう検討する。
- まち・みどり公社事業参加人数について、カウントする事業を例示する等の指標としている事業を明示してほしい。
- 改めて整理、条件付けをした上でカウントする。
- 街美化アダプト制度や森づくりパートナーシップなど有益な活動をしていることについて、基本目標4の人には記載されないのか。
- 現行では、市民協働について計画全体に関わる部分として第3章58ページに記載している。つまり人ではなく緑の部分に記載されている。

- 第3章62ページに清らかな流れと水辺を守る上での成果指標として私有林の記載があるがわかりづらい。なぜ水なのに私有林なのか。私有林という個人の所有物を市の目標にすることは可能なのか。
- 水循環や水源保全のためには、森林の確保が必要であることから、森林の整備面積を成果指標としている。ここで指している私有林は、保全のために、市と所有者が契約書を交わし、所有者に代わって市が整備している森林のことを指している。
- 市が個人のを勝手に扱っていると思われないよう事業をわかりやすく記載してほしい。
- 表現方法については確認する。
- 序章39ページの(4)のタイトルは、「市民や事象者の意識」が適切ではないか。取組の概況というよりは「意識」に関する内容となっているように感じるため、見出しの付け方等を上手く整理した方が良い。
- わかりやすく整理する。
- 序章9ページにあるエコロジカルネットワークの図がわかりづらい。ぱっと見て分かりやすくしてほしい。
- 9ページのエコロジカルネットワークの図は、国が作成した図面を引用しているため変えることは難しい。13ページにエコロジカルネットワークの概念を本市にあてはめた図面を提示している。
- 13ページの図面については、国の図を相模原市に当てはめて作成した旨の注釈を入れてほしい。また、国の図のように市街図の図面を想定していたが、広域的な図面だけになるのか。
- 本来であれば、例えば地区ごとのように詳細な図面があるのが理想だが、様々な生物の生息・生育の実態が細かく把握できている訳ではないため、現時点では広域的な図面とし、今後の施策を展開する中で強化できればと考えている。
- 序章36項について、ブランクがあるのに赤や黄色の部分があるのはなぜか。白地でなく色付きの地図に色を上乗せすると分かりづらい。
- できるだけ分かりやすく表現できるよう工夫する。
- 序章29項の棒グラフに全て数字を入れてほしい。最初と最後しか数字が入っていない。また軸の線を濃くしてほしい。
- 見やすくなるように工夫する。
- 第3章65項基本目標4について、少子高齢化の進行や担い手の不足など後ろ向きの表現が多いので、できるだけ前向きに捉えられるよう表現することはできないか。
- 基本目標を設定するために、市民アンケートや団体へのヒアリングで意見として多かった課題等を記載している項目であり、少子高齢化や担い手不足は事

実でもあるので、後ろ向きな表現にせざるを得ないが、表現については検討したい。

- 第6章91項のPDCAサイクルの部分では、推進体制で「誰が」という部分が明確に書かれていない。継続的に推進していくためにも、実施主体等は明記すべきではないか。また、表現の仕方として、Planのところから出た矢印がどこかに放り投げたようになっている。らせん状や円形にするなど、回るようなイメージにするのはどうか。
- 今回は、PDCAサイクルの考え方にに基づき計画を推進していくことを記載したもので、具体的なフィードバック等については、今後の審議会で議論を進めていきたい。
- 3月までに具体的なPDCAの仕組みも決まっていけないのか。
- そこまでは必要がない。追って具体策については話し合っていきたい。

(2) 次期計画・戦略の策定に関する答申書（案）について

事務局による説明の後、質疑応答を行った。

- 水とみどりの基本計画ではなく緑の基本計画なのか。
- 文言としては緑の基本計画である。
- 答申書としてはこちらでよろしいか。
- 了承した。

3 その他

事務局から、次回の会議日程等について説明した。

以上

水とみどりの審議会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	田淵 俊人	玉川大学農学部 教授	会長	出席
2	南 正人	麻布大学獣医学部 准教授		欠席
3	吉永 龍起	北里大学海洋生命科学部 准教授		出席
4	岸 好美	公募委員		出席
5	秋永 真里子	特定非営利活動法人境川の斜面緑地を守る会 理事		出席
6	飯塚 裕美	特定非営利活動法人みどりのお医者さん		出席
7	熊谷 達男	「小松・城北」里山をまもる会 副会長		出席
8	高橋 孝子	特定非営利活動法人相模原こもれび 理事長	副会長	出席
9	野口 恭夫	相模原商工会議所 3号議員 (東京ガス株式会社神奈川西支店 支店長)		出席